



三重県アレルギー療養指導スタッフ養成コース

研修風景

当院では、2019年度三重県アレルギー疾患対策都道府県拠点病院モデル事業の1つとして、三重県内の小児から成人までのアレルギー疾患に関する知識・技術の習得を目指し、臨床実践能力の高いメディカルスタッフの養成を目指す目的で研修を行ってきました。

コロナ禍を経て、オンライン講義形式も取り入れながら、エピペンの使用方法や吸入指導等の技術や症例検討は対面形式で行いました。

今年度は地域の医療機関で働く看護師や栄養士、調剤薬局の薬剤師、行政機関・保育園に所属する看護師など多種多様でした。

開催も6年目を迎え、研修生も当初40名ほどから10名ほどへ徐々に減少してきていますが、本研修は無料であり、計3回の受講で修了証と研修終了記念バッジが贈呈されます。



症例検討会の様子



ぜひご興味のある方は次年度も開催予定ですのでご参加ください。
(教育担当 角 雅美)

看護師紹介

手術室



手術室は、看護師長1名と、麻酔科学会認定の周術期管理チーム看護師1名を含む5名の看護師で、周術期看護を提供させていただいています。

周術期とは、「術前・術中・術後」を総称した呼び方で、周術期管理チーム看護師は、周術期における基礎的な教育を受け、麻酔科学会から認定された看護師のことをいいます。周術期管理チーム看護師になったきっかけを尋ねると「当院は麻酔科医が1名しかいないから、救急時対応ができるように、スキルアップをしたいから」という返事でした。専門性を持ち、自信をもって周術期看護を行っている彼女の姿から「私も、周術期管理チーム看護師をめざしたい。試験は難しいけどがんばります」と次に続くスタッフもいます。私たち手術室看護師は、患者様やご家族様に寄り添い安心して手術を受けていただけるよう努めています。

(手術室看護師長 丹羽 鈴美)

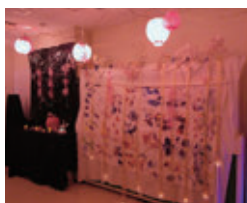
5病棟の生活のひとコマ

新年度がスタートし、季節はすっかり春になりました。過ごしやすい陽気になってきましたが、寒暖差の激しい時期でもあるため体調管理をしっかり行い、元気よく明るい気持ちで過ごしていきたいですね。



さて5病棟では、3月にスノーズレンルームの入れ替えを行い、テーマが「桜」へ変わりました。照明類はすべてピンク色で統一されており、桜の装飾物を一面に飾っています。また、アロマも桜の香りのものを使用し、お部屋全体が「桜」にあふれた素敵な世界観が広がっています。患者さんには非常に好評で、みなさんうっとりした表情で桜に癒されていました。またスタッフからも「わ～きれい!」という声が聞かれ、スノーズレンを楽しむ様子が見られました。5病棟へ来られた際には、ぜひ自慢のスノーズレンルームを覗いてみてくださいね。

(児童指導員 森 日奈子)



今月のみえっちゃん



みえっちゃん

かわいい
「みえっちゃん」の
ぬり絵を
ありがとうございました。

みなさまも、どしどし
応募してくださいね。

◀《ほのか さん》

